

視察園概要

3

視察場所：東松島市赤井字星場 2 1 0 - 1
TEL：0225-82-4404

園主：遠藤 淳一氏（41歳）

家族構成：本人、妻、長女、次女、父、母

1. 経営内容（品目、面積）

① 就農時：露地畑 60a（のべ作付面積 120a）
レタス、キャベツ、ホウレンソウ、スイートコーン

② 現在：露地畑 80a（のべ作付面積 180a）
春レタス、夏とうもろこし、秋レタス、春秋キャベツ
冬ちぢみほうれんそう、仙台白菜 他。

※農地取得は、農地法3条許可による賃貸借。

農地の取得にあたっては、研修先の農家は、集落内の広報誌の編集長も務めており、自分を紹介してくれるなどの支援があった。

2. 就農するまでの経過（就農時期：平成19年4月・34歳）

東松島市（旧矢本町）出身。非農家であったが、高校生の頃から農業をやりたいと思い農学部に進学。卒業後は、宮城県美里町の農業生産法人（有）イーストファームみやぎに就職し、10年間勤務。主に、水稻の作業受託を行っており、稲作の農作業全般、ラジコンヘリのオペレーターなどに従事。

次第に、「自分の判断と責任で農業をしたい」という気持ちが高まって悩んだ末に平成17年12月に退職。

地元の野菜農家で、1年間の研修を経て就農。夢の実現を果たす。この間、農業大学のニューファーマーズカレッジも受講した。

3. 経営の特徴

- ・いかに畑を有効利用して、生産性を上げるかを第一に考えている。
 - ・栽培は、特別な技術を取り入れていないが、できるだけ化学農薬や化学肥料を減らして、良質の野菜を生産するよう努めている。
- （JA各部会所属）



4. 労働力

4人（本人、妻、父、母） ※両親は、退職後から参画。

5. 出荷販売先

- ・JA共販による市場出荷8割、店舗や個人顧客への宅配2割
- ・市場出荷を主体としながらも、仙台白菜などの契約栽培も取り入れている。

6. 今後の経営目標（将来の展望）

農業経営者として、安定した生計を成りたてたい。

そのためには、高い生産技術を身につけ、品質の良い物を安定生産したい。生産出荷の口スをいかに軽減するかが課題。

7. 新規参入者希望者へ一言

農業は生やさしい仕事ではない。就農してからが本当の苦労が待っている事を理解してほしい。

自分から行動を起こし、周囲の話を柔軟に受入、時には、軌道修正も必要です。

